

年 報

令和6年度版

(公財)岩手県文化振興事業団
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

序

昭和52年、当センターは「財団法人岩手県埋蔵文化財センター」として設立され、それ以降、岩手県教育委員会の御指導と調整、並びに関係機関の御協力をいただきながら、本県における開発事業に伴う発掘調査推進の一翼を担って参りました。

令和6年度は、一般国道4号バイパスをはじめとする道路建設や県の農業基盤整備事業のほか、自治体の産業団地整備と林業関連施設建設に伴う発掘調査を実施し、多くの成果を得ることができました。また、埋蔵文化財の普及事業として、大槌町において「埋蔵文化財展－発掘された大槌町の歴史－」を3日間開催し、期間中465名の方々に出土資料等をご覧いただきました。

本書は、当該年度に実施した当センターの発掘調査並びに室内での整理作業をはじめ、報告書の刊行、普及啓発活動、調査・研究等の状況を簡潔にまとめたものです。

郷土いわての歴史に関わる埋蔵文化財の保護と普及にあたり、皆様に御活用いただきますようお願い申し上げます。

令和7年7月

(公財)岩手県文化振興事業団
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

所 長 岩 渕 計

目 次

序

I 埋蔵文化財センターの概要	1
1 設立の主旨	1
2 沿革	1
3 組織	2
4 職員数の推移	3
5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移	3
6 受託事業費の推移	4
II 事業の概要	5
1 管理業務	5
(1)受託事業	5
(2)研修、諸会議等	5
2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務	5
(1)発掘調査業務	5
(2)整理業務	6
(3)報告書発刊業務	6
3 普及業務	11
(1)受託業務	11
①埋蔵文化財展	11
②埋蔵文化財発掘調査技術講習会	11
③埋蔵文化財公開講座	12
④岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発刊	12
⑤資料保管・管理	13
(2)自主事業	15
①遺跡報告会	15
②資格取得	15
③研修	15
④発刊	16
⑤図書管理	17
⑥カラースライドデジタル化	17
⑦所内展示	18
⑧ホームページ運営	18
⑨遺跡見学・体験学習・教職員研修・現地説明会・現地公開	18
4 外部協力	18
(1)講演・研究発表・会議・指導	18
(2)執筆等	19
職員名簿	20
アクセス	21

I 埋蔵文化財センターの概要

1 設立の主旨

豊かな自然に恵まれた岩手県は旧石器時代以来生活の舞台となっており、「埋蔵文化財の宝庫」と呼ばれるほど数多くの文化遺産が受け継がれてきました。それは、時に縄文人の作ったおびただしい数の土偶であったり、12世紀の東日本最大の都市「平泉遺跡群」であったりします。

一方、高速交通網の整備をはじめ多くの開発事業が促進され、これにより遺跡の発掘調査が急増し、調査体制の充実や出土遺物の整理・収蔵を図る施設の建設が要請されることになりました。

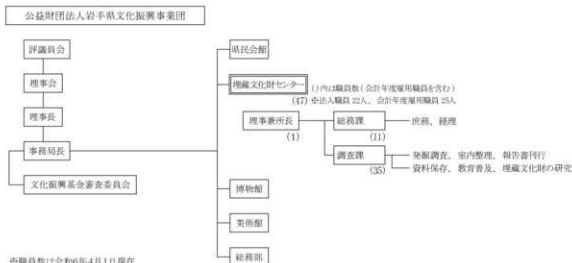
公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターは、このような状況に対処するために設立され、埋蔵文化財の調査、研究、保護思想の普及・啓発などを総合的に行っています。

2 沿革

昭和52年4月	財団法人岩手県埋蔵文化財センター設立。組織は総務課、調査課の二課体制 盛岡市向中野39番地の盛岡家畜保健衛生所の旧用地 1,383㎡、旧建物 374㎡ (事務所建 326㎡、車庫 32㎡、雑屋建 16㎡)を借り受け事務所とした
昭和53年10月	所長室、事務室等の管理棟(プレハブ)及び収蔵庫(プレハブ)を建築
昭和54年2月	第1回埋蔵文化財展(市町村巡回)を開催(盛岡市)
昭和55年1月	第1回埋蔵文化財公開講座を開催(盛岡市)
昭和56年4月	岩手県立埋蔵文化財センター庁舎完成(盛岡市下飯岡11地割185番)。同庁舎の一部を借り受け事務所を移転。資料課を新設し三課体制となる
昭和59年11月	機材収蔵庫(旧北プレハブ棟、2階建 580㎡)をリースにより設置
昭和60年3月	第24回理事会において、財団法人の解散と残余財産を新財団法人に引き継ぐことに決定
昭和60年4月	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる 総務課を管理課に改称。管理課、調査課、資料課の体制となる
平成2年4月	隣接の教育センター分館を収蔵庫(960㎡)として借用
平成2年11月	室内整理作業棟(旧南プレハブ2階建 660㎡)をリースにより設置
平成8年3月	県予算により整理作業棟(呼称：新プレハブ 2階建プレハブ、654.76㎡)と収蔵庫(平屋建プレハブ 327㎡)2棟建設 教育センター分館収蔵庫取り壊しに伴い出土品を移動
平成9年8月	プレハブ棟に冷房機を設置
平成11年4月	岩手県立埋蔵文化財センターの施設管理運営業務を受託 調査課を調査第一課に、資料課を調査第二課に改称
平成12年2月	北山倉庫(旧盲学校校舎)に出土品の一部を移動
平成12年8月	機材収蔵庫(プレハブ2階建、リース物件)を建替え 本館改修(屋根、外壁)工事及び浄化槽改修工事を実施
平成13年6月	本館冷房設備設置工事を実施
平成13年9月	水道配水管漏水補修工事を実施
平成14年9月	旧衛生研究所に出土品の一部を移動
平成15年10月	本館耐震診断調査を実施

平成17年 3月	自家発電設備補修工事を実施
平成18年 4月	管理課を総務課に改称
平成22年 4月	旧南プレハブ老朽化のため解体
平成23年 4月	公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる
平成24年 4月	調査第一課及び調査第二課を調査課に統合
平成25年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員3名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員7名とOB職員3名の任用
平成25年11月	盛岡市向中野3丁目18-35に事務所を借り室内整理室の分室とする(～平成26年3月)
平成26年 2月	室内整理作業棟(呼称：南プレハブ 平屋建 334.65㎡、リース物件)の増設
平成26年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員6名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員8名とOB職員6名の任用
平成26年11月	盛岡市西仙北1丁目16-10に事務所を借り室内整理室の分室とする(～令和2年3月)
平成27年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員5名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員5名とOB職員5名の任用
平成28年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員3名と岩手県から2名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員1名とOB職員4名の任用
平成29年 2月	矢巾町大字広宮沢第10地割506番地2に事務所等を借り室内整理室の分室とする(～平成31年3月)
平成29年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員4名と岩手県から1名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員3名とOB職員3名の任用
平成30年 4月	東日本大震災復興調査及び支援のため、期限付調査員3名とOB職員4名の任用及び福島県文化振興財団に職員1名の派遣
平成31年 4月	東日本大震災復興調査支援のため、福島県文化振興財団に職員1名の派遣
令和 2年 4月	東日本大震災復興調査支援のため、福島県文化振興財団に職員1名の派遣

3 組 織



※職員数は令和6年4月1日現在

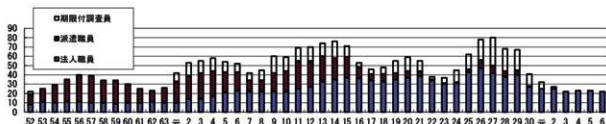
4 職員数の推移(昭和52年度～令和6年度)

(人)

(財)岩手県埋蔵文化財センター									(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター														
年 度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
法人職員	8	11	10	11	11	10	10	9	10	10	11	10	10	14	14	17	21	23	22	22	22	22	
派遣職員	11	14	19	24	29	29	24	25	20	15	12	16	23	25	28	27	22	20	12	12	20	22	
期限付調査員	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	13	14	11	9	8	11	18	15	
計	22	25	29	35	40	39	34	34	30	25	23	26	42	53	55	58	54	52	42	45	60	59	

(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター													(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター										
年 度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	
法人職員	25	27	33	35	37	36	34	33	35	37	39	34	30	31	43	47	42	38	40	27	25	25	
派遣職員	30	28	27	23	22	12	7	8	7	7	5	1	1	1	3	9	8	6	5	1	0	0	
期限付調査員	14	15	14	18	12	5	5	7	13	15	11	3	6	13	16	22	30	24	22	13	7	2	
計	69	70	74	76	71	53	46	48	55	59	55	38	37	45	62	78	80	68	67	41	32	27	

(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター				
年 度	3	4	5	6
法人職員	22	23	23	22
派遣職員	0	0	0	0
期限付調査員	0	0	0	0
計	22	23	23	22



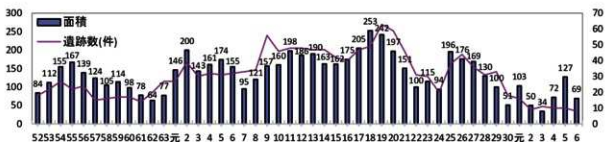
5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移(昭和52年度～令和6年度実績)

(千㎡・件)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
面積	84	112	155	167	139	124	105	114	98	78	64	77	146	200	143	161	174	155	95	121	157	160				
遺跡数(件)	18	22	27	22	24	15	16	17	17	14	20	27	27	39	30	32	31	32	33	34	56	46				

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2				
面積	198	186	190	163	162	175	205	253	242	197	151	100	115	94	196	176	169	130	100	51	103	50				
遺跡数(件)	48	48	47	47	42	40	47	49	63	59	46	31	30	20	38	44	36	31	33	18	16	9				

年度	3	4	5	6	
面積	34	72	127	69	
遺跡数(件)	11	9	10	8	



6 受託事業費の推移(昭和52年度～令和6年度実績) 事業費百万円未満四捨五入

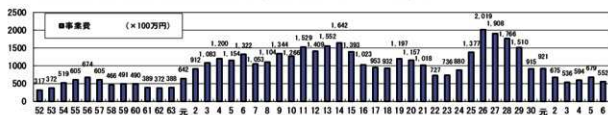
(百万円)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
事業費(×100万円)	317	372	519	605	674	605	466	491	490	389	372	388	642	912	1,083	1,200	1,154	1,322	1,053	1,104	1,344	1,266	1,529

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
事業費(×100万円)	1,409	1,552	1,642	1,393	1,023	953	932	1,197	1,137	1,018	727	736	880	1,377	2,019	1,908	1,766	1,519	915	921	675

年度	3	4	5	6
事業費(×100万円)	536	594	679	552

平成11年度以降、管理受託収入、緊急雇用特別対策事業収入(平成16年度まで及び21～23年度)を含む。



II 事業の概要

1 管理業務

(1) 受託事業(施設の管理運営)

- ① 岩手県立埋蔵文化財センターの管理運営業務受託
 - ・本館、室内整理作業棟、収蔵庫2棟、器材収蔵庫棟等の施設・設備の管理保全
- ② 出土遺物の保管管理
 - ・特別収蔵庫(本館2階)、一般収蔵庫(本館3階)、収蔵庫A・B棟のほか、旧東和高校体育館に遺物を保管

(2) 研修、諸会議等(専門職員研修等を除く)

- ① 職員研修〈事業団研修〉
 - ・特別研修(視察研修) 8月21日(東北歴史博物館、東北大学ギャラリーミニモリ)
 - ・特別研修(館長講話) 3月26日(博物館長講話、美術館長講話)
- ② 安全衛生関係
 - ・安全衛生委員会 月1回(労働安全衛生法第18条第1項に基づく設置)
安全講話(現場の熱中症予防、安全衛生)
 - ・安全及び衛生管理体制の充実
第二種衛生管理者準備講習(受講1名)
化学物質管理者講習(受講1名)
有機溶剤作業主任者講習(受講2名)
- ③ 諸会議
 - ・事業団理事会 5月22日、6月18日、11月21日、3月18日
 - ・事業団評議員会 6月18日
 - ・岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課・事業団 埋蔵文化財業務連絡会 5月24日

2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務

(1) 発掘調査業務

令和6年度の発掘調査は、当初計画8遺跡、総面積69,640㎡で開始されたが、その後二つの遺跡で調査面積に若干の変更が生じ、最終的には69,690㎡が対象となった。調査地域は、県央部を主体としつつ、県北地区2か所、県南沿岸地域1か所を含む4市3町にわたり、調査原因となった事業・遺跡数は、一般国道4号水沢東バイパス関連の道路建設1遺跡、県の農業基盤等圃場整備4遺跡、同じく県道の道路整備事業1遺跡、市町村からの工業団地等の整備受託2遺跡である。

今年度の調査結果を総括すると、令和4年度以降の継続調査遺跡4遺跡以外については面積も狭小で、遺構・遺物とも比較的小さい状況であった。

令和4年度に旧石器時代の石器集中区が見つかった北上市岡田遺跡からは、後期旧石器時代の細石刃と細石刀核、製作時の微細な剥片類が出土した。これらの石器の特徴がその際に出土した石器よりも新しい時期に属することから、本遺跡には二時期の文化層が存在していたと考えられる。

縄文時代では、2年目の調査となった花巻市折居遺跡、昨年度内容確認調査により、多くの遺構

が確認されていた住田町中埜Ⅲ遺跡の本調査を行った。折居遺跡では、昨年度同様縄文時代前～中期の大規模な集落が調査区西側まで広がることが再確認された。中埜Ⅲ遺跡からは、石列を伴う堅穴住居1棟、堅穴住居10棟、4本柱の掘立柱建物45棟以上、土壌墓などが見つかったが、遺物には石棒や石剣などの石製品とその素材となる礫が目立つ。このことは、一般的集落のあり方と様相が異なるこの遺跡の内容を知る手がかりになるものと思われる。時期は、後期後葉から晩期後葉にかけてと考えられる。この他、岡田遺跡からは、これまで同様、縄文時代の陥し穴が160基あまり確認された。3か年の総数は600基を超えるが、その形状や配列される状況を検討することで、縄文時代の新たな狩猟の様子を想定することができよう。この他に陥し穴は、洋野町弥栄ⅩⅢ遺跡から溝形タイプのを3基確認した。また、県北二戸市の上野々遺跡では、旧河道から中・後期の土器片が出土している。

次に、弥生時代から奈良・平安時代にかけてであるが、例年に比べて遺構・遺物とも少なかった印象である。奥州市胆沢に所在する中井遺跡からは、弥生時代後期の土器片と平安時代末期の常滑産陶器片やかわらけが出土し、今年度で3回目となる奥州市中林下遺跡、金ヶ崎町堀切後遺跡では土師器・須恵器の破片が出土した。遺構としては、中林下遺跡から掘立柱建物2棟のほか、土師器の坏などが廃棄された土坑や重複する溝2条が見つかった。

最後に近世の遺跡であるが、先述した中井遺跡からは、ガラス玉や寛永通宝、煙管などの副葬品を伴う土壌墓が3基見つかり、人骨も出土した。また、この遺跡からは足跡や耕作痕を残す水田跡1面が確認されている。畦畔の痕跡は認められないものの、小区画の水田と想定される。足跡等には灰白色の火山灰が含まれるものがあり、機能した年代や内容を確定すべく、土壌と火山灰の分析を実施する予定である。この他、岡田遺跡では、近世初めの掘立柱建物4棟とそれらに付属する溝と井戸が確認された。

令和7年度以降に発掘調査が予定される遺跡として、令和5年度に調査を実施した花巻市山ノ神Ⅱ遺跡、今年度調査を実施した奥州市中井遺跡のほか、新規に着手する遺跡が県央部を中心に見込まれており、更なる調査成果の追加が期待される。

(2) 整 理 業 務

令和5年度は、前年度整理作業が未了となっていた奥州市の境遺跡、山下遺跡について、2か月間にわたり室内整理を行った。平安時代の堅穴住居1棟と土坑類が検出されている遺跡である。

(3) 報告書発刊業務

令和6年度は、4遺跡3冊の調査報告書を刊行した。内訳は、県土木部発注の報告書1冊と市町村関連2冊である。なお、令和3年から3か年の野外調査を実施した野田村中平遺跡については、当初、当該年度に発刊することを予定していたが、年度途中で「野田村教育委員会発掘調査報告書第10集」として刊行されることとなった。



令和6年度発掘調査遺跡位置図

表1 令和6年度発掘調査一覧

No.	遺跡名	所在地	面積 (㎡)	調査期間	関連事業名	調査成果
1	中林下遺跡	奥州市	2,390	4/17～6/27	一般国道4号水沢東バイパス	(検出遺構) 平安：掘立柱建物2、土坑2、溝2、その他2 時期不明：掘立柱建物1、土坑12、墓壇1、柱穴147、その他1 (出土遺物) 土師器・須恵器大2箱、陶器2、瓦3、柱・部材9、縄文石器0.5袋
2	中井遺跡	奥州市	1,320	10/1～11/19	経営体育成基盤整備事業(東田西部地区)	(検出遺構) 近世以前：水田跡45㎡ 近世：土壇墓3、溝1 時期不明：土坑2、溝9、柱穴30、旧河道2 (出土遺物) 土師器・須恵器・かわらけ・陶磁器・産陶器小0.5箱、銭貨10以上、煙管4、石臼1、棺材、ガラス玉10、櫛1、骨片少々
3	折居遺跡	花巻市	3,300	6/3～9/30	農業農村整備事業(太田地区)	(検出遺構) 縄文：竪穴住居35、土坑30、陥穴1、墓壇1、貯蔵穴4、埋設土器2 (出土遺物) 縄文土器大70箱、剥片石器中7箱、礫石器中20箱、土偶5、石製品小0.5箱
4	堀切後遺跡	金ヶ崎町	700	5/1～6/14	農地中間機構関連農地整備事業(原・蟹沢地区)	(検出遺構) なし (出土遺物) 縄文土器大3箱、土師器・須恵器小0.5箱、石器小1箱
5	上野々遺跡	二戸市	160	5/1～6/27	畑地帯総合整備事業(穴牛・村松・谷内地区)	(検出遺構) 旧河道1 (出土遺物) 縄文土器中5箱、石器中5箱
6	弥栄Ⅲ遺跡	洋野町	1,750	10/1～11/20	地域連携道路整備事業	(検出遺構) 陥穴3 (出土遺物) なし
7	岡田遺跡	北上市	56,500	4/8～11/26	北上北部産業業務団地整備	(検出遺構) 後期旧石器集中区1 縄文：陥穴165、土坑1(フラスコ形)、埋設土器1 近世：掘立柱建物4、井戸跡1 時期不明：竪穴状遺構1、土坑6、溝跡6 (出土遺物) 後期旧石器(細石刃2・細石片1・微細剥片)小1袋、縄文土器大1袋、石器小1袋
8	中坪Ⅲ遺跡	住田町	3,570	4/8～9/30	林業関連施設建設	(検出遺構) 縄文：竪穴住居11、竪穴状遺構1、掘立柱建物47、土壇墓48、土坑192、陥穴38、埋設土器3、柱穴状土坑310、砂跡2、礎土遺構4 (出土遺物) 縄文土器大53箱、石器中486箱、土偶9、土版1、石棒類、石冠、施銘石、煙管2など
合計8遺跡			69,690			

表2 令和6年度整理業務一覧

No.	遺跡名	所在地	整理期間	関連事業名	備考
1	作屋敷遺跡	奥州市	7/16～9/30	経営体育成基盤整備事業(若柳中部地区)	令和5年度調査
2	太田林遺跡	釜石市	4/1～3/31	橋野地区消防屯所建設事業	令和4・5年度調査
3	牧田貝塚ほか	陸前高田市	5/1～3/15	被災考古資料修理業務	

表3 令和6年度発掘調査報告書発刊一覧

集数	遺跡名	所在地	委託者	担当者名	総頁数	印刷業者	調査年度
746	境遺跡、山下遺跡	奥州市	鳳南広域振興局土木部	瀧 浩二郎	56	(株)橋本印刷	令和4年度
747	山ノ神Ⅱ遺跡	花巻市	花巻市商工観光課	杉沢 昭太郎	248	(株)阿部印刷	令和5年度
748	広表遺跡	北上市	北上市企業立地課	瀧 浩二郎 ほか	248	(有)ジロー印刷 企画	令和5年度
749	「令和6年度発掘調査報告書」 本報告：堀切後遺跡、弥栄Ⅲ遺跡 調査概要：中林下遺跡、中井遺跡、折居遺跡、上野々遺跡、岡田遺跡、中坪Ⅲ遺跡				50	(株)五六堂印刷	令和6年度



岡田遺跡 並ぶ陥し穴



中埴Ⅲ遺跡 遺跡全景



折居遺跡 大形の竪穴住居



弥栄XIII遺跡 随し穴の測量



上野々遺跡 縄文後期旧河道の精査



中林下遺跡 平安時代の土坑



中井遺跡 近世以前の水田(北西から)



堀切後遺跡 調査区南側の検出作業風景(北東から)



中井遺跡 土壇墓出土の寛永通宝

3 普及業務

(1) 受託業務

岩手県教育委員会より委託を受け、次の事業を行っている。

① 埋蔵文化財展

令和6年度の第45回埋蔵文化財展は、大槌町文化交流センター「おしゃっち」を会場に、町民文化祭と期日を同じくして令和6年11月2日(土)から4日(月・祝)の3日間、大槌町教育委員会との共催で開催した。本事業は、県内の遺跡発掘調査の成果を県民に公開し、埋蔵文化財への理解と保護思想の普及を図るために継続している展示会である。

今回は当センターがこれまでに大槌町内で行った縄文時代、平安時代、中世の計6遺跡のほか、町教育委員会が行った近世の2遺跡の調査成果を紹介した。このうち6遺跡は東日本大震災からの復興事業に伴う発掘調査である。赤浜Ⅱ遺跡は、大槌湾に面した標高1～8mの低地にある遺跡で、縄文時代前期のロングハウスのほか、おびたしい数の中期の堅穴住居、後期の配石遺構が検出されており、遺物では縄文時代後期の注口土器や壺、土偶などが注目された。また、大槌バイパス建設に伴って調査した夏本遺跡から出土した赤彩の土師器壺や近世の代官所を擁する大槌の町場からの出土品も来場者の関心を集めた。

土器パズルや縄文服着用体験コーナーでは、多くの児童が興味をもって取り組んだ。3日間の入場者は465名であった。



埋蔵文化財展



埋蔵文化財展

② 埋蔵文化財発掘調査技術講習会

毎年、県内の県及び市町村の埋蔵文化財担当職員と当埋蔵文化財センター職員を対象として、発掘調査に必要とされる技術・知識の講習を行っている。

今年度は令和6年12月13日(金)に盛岡市の岩手県工業技術センターを会場に「デジタル技術を活用した遺構・遺物の調査方法」をテーマに実施した。講師は(公財)山形県埋蔵文化財センターの水戸部秀樹氏で、「3D写真測量を使用した調査・整理と報告書作成」の講義のほか、当センター北田勲主任文化財専門員による事例報告「3Dレーザースキャナーを利用した実測図作成」について、工業技術センター保有機器を利用しての実践例を報告した。参加者は40名であった。



技術講習会

③ 埋蔵文化財公開講座

令和 7 年 1 月 25 日(土)、いわて県民情報交流センター（アイーナ）を会場に開催した。講師は国立科学博物館の篠田謙一館長で「日本人と食の関わり―自然の恵み、人々の知恵―」をテーマにご講演いただいた。

「和食」をテーマにした講座の内容にはとても興味を覚えた。特に縄文時代から弥生時代への変化について、人類学的に大きな変化がもたらされていたことを初めて知ることができた。今までの時代に対する見方も変えていかなければならないと再認識させられた。」

「違う視点からみた歴史、縄文、弥生の話が教養の幅を広げてくれて楽しかった。細かな研究でのエピソードも含め、引き込まれたお話でした。」

などの感想が寄せられた。受講者は 177 名であった。



公開講座

④ 岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発刊

6 月と 2 月の年 2 回、岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」を発刊している。令和 6 年度は 150 号と 151 号を発行した。



150号(令和6年6月28日発行)

150 号の内容

- ・令和 5 年度に県教委及び市町村教委等が実施した発掘調査
- ・令和 6 年度(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの発掘調査
- ・世界遺産橋野鉄鉱山へ行ってみよう！
- ・イベントのお知らせ
- ・人事動向



151号(令和7年2月28日発行)

151 号の内容

- ・令和 6 年度の(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター発掘調査の成果
- ・注目された遺跡
- ・春になったら行ってみよう！ 九戸城跡
- ・令和 6 年度イベントの報告

⑤ 資料保管・管理

発掘調査で出土した遺物(埋蔵文化財)を整理・管理している。遺物は県教育委員会の通知を受け、貸出業務及び市町村への譲与対応を行っている。調査記録類については、遺物の譲与を受けた遺跡について、依頼があった際に譲与している。また、資料の実見対応や画像貸出等も行っている。

表4 市町村譲与

No.	市町村	集数	遺跡名	コンテナ数	譲与日	備考
1	遠野市	第155集	高瀬Ⅰ	28	令和6年10月28日	記録類 別途譲与
		第353集	権館跡	5		
		第384集	権現前	21		
			計	54		

表5 記録類の譲与

No.	市町村	集数	遺跡名	アルバム数	その他	譲与日
1	遠野市	第155集	高瀬Ⅰ	55	図面179	令和6年12月24日
		第353集	権館跡	99	図面577ほか	
		第384集	権現前	22	図面89ほか	
		第436集	橋洞Ⅱ	19	図面118	
		第448集	平倉観音	8	図面37	
		第461集	夫婦石袖高野	10	図面22ほか	
		第549集	向Ⅱ	8	図面54	
		第572集	新田Ⅱ	8		
		第588集	上日影・燕の沢Ⅱ		図面4	
		第591集	向Ⅲ	2	図面1ほか	
		第606集	大畑Ⅲ	2	図面31ほか	
		第622集	新田Ⅱ	1	図面46ほか	
			計	234	図面1158	

表6 資料の実見

No.	受入日	申請者	資料名	内容	備考
1	5月15日	南山大学教授	塩ヶ森Ⅰ遺跡、手代森遺跡出土土偶	学術研究	写真撮影含む
2	5月16日	福島市振興公社職員	川目A遺跡5次出土土偶	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
3	5月20日～23日	東京大学常呂実習施設助教	千刈遺跡・金附遺跡出土土器	学術研究	写真撮影含む
4	6月6日	台湾中央研究院研究技師	乙部野Ⅱ遺跡・幸浜Ⅱ遺跡出土土器	学術研究	写真撮影・データ採取含む
5	6月13日	個人	保原遺跡ほか計11遺跡出土土器・土製品	学術研究	写真撮影含む
6	6月24日	個人	火行塚遺跡・川岸場遺跡出土土類	学術研究	写真撮影含む
7	7月3日	花巻市博物館学芸員	塩ヶ森Ⅰ遺跡ほか計7遺跡出土土偶ほか	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
8	7月5日	個人	作屋敷遺跡・漆町遺跡出土陶磁器	学術研究	写真撮影含む
9	8月1日	個人	山口館跡ほか計5遺跡出土土器・鉄製品	学術研究	写真撮影含む
10	8月9日	東京大学准教授	柏山館跡出土土器	学術研究	
11	8月21日～22日	南山大学教授	金附遺跡・雨滝遺跡出土土偶ほか	学術研究	写真撮影・データ採取含む
12	9月4日	一関市芦東山記念館学芸員	河崎の棚掘定地・中村城跡出土銭貨ほか	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
13	9月11日	個人	峠山牧場Ⅰ遺跡A地区出土土器・石製品	学術研究	写真撮影含む
14	10月17日	写真家	長谷堂貝塚出土土製品	写真展示のため	写真撮影
15	10月21日	個人	沢田遺跡出土土器、石器、鉄製品ほか	学術研究	写真撮影含む
16	11月22日	TBSグロウティア社員	下風江Ⅰ・Ⅱ遺跡出土旧石器	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
17	12月19日	花巻市博物館学芸員	大谷地遺跡出土赤彩土器	学術研究	写真撮影含む
18	12月23日～24日	個人	物見崎遺跡ほか計10遺跡出土弥生土器	学術研究	写真撮影含む

No.	受入日	申請者	資料名	内容	備考
19	2月13日	山梨県立考古博物館学芸員	萩内遺跡出土土製品	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
20	3月6日	愛媛大学准教授	内田貝塚ほか計5遺跡出土 魚骨・土製品	学術研究	写真撮影含む
21	3月7日	東北芸術工科大学准教授	杉の堂遺跡出土弥生土器	学術研究	写真撮影含む

表7 資料の貸出

No.	資料名	貸出期間	貸出先	目的
1	中坪Ⅲ 16点	2月12日～17日	住田町教育委員会	講座での展示
2	萩内 レプリカ1点	10月19日～1月13日	花巻市博物館	特別展
3	河崎の櫓擬定地、中村城 銭貨55点	9月9日～1月31日	一関市芦東山記念館	特別展
4	塩ヶ森Ⅰ、相ノ沢、萩内、清水、高畑、大橋、下 中居Ⅰ、下中居Ⅱ、川目A 土偶、土製品33点	9月25日～1月13日	花巻市博物館	特別展
5	沼久保、河崎の櫓擬定地、吉田館、川目A 土器 16点	9月14日～11月4日	松戸市立博物館	企画展
6	川目A、越田松長Ⅰ、千沼、沢田Ⅲ、大橋、上米 内、細谷地、力持、南滝 土器・石器39点	6月17日～6月26日	高松小学校	社会科授業
7	明神下、杉の堂、中平入 土器ほか51点	10月5日～12月1日	(一財)奥州市文化振興 財団奥州市埋蔵文化財 調査センター	企画展
8	川目A遺跡 土偶20点	9月7日～11月24日	(公財)福島市振興公社	企画展
9	小堀、飯岡才川、飯岡林崎、向中野館 土器、木 製品ほか32点	9月1日～9月29日	志波城愛護協会	企画展
10	不動館、河崎の櫓擬定地 遺物鉄製品、かわらけ ほか102点	6月4日～7月7日	一関市教育委員会	埋文展
11	相ノ沢、河崎の櫓擬定地、川目A 土偶8点	9月3日～12月13日	八戸市是川縄文館	企画展
12	萩内、上里、下村B、湯沢、手代森、和光6区、本 郷、石曾根、館Ⅳ、煤係、向館、上米内、本Ⅱ、 山王山、峠山牧場ⅠB、相ノ沢、米沢、清水、久田、 和野Ⅰ、大橋、南滝、川目A5次、滝の沢、山瀬 地、石峠Ⅱ、杉の堂、長谷堂貝塚、岡戸Ⅰ 土器、 土製品、石製品ほか計104点	5月24日～9月13日	岩手県立博物館	テーマ展

表8 写真の貸出

No.	月	申請者	目的	遺跡名	資料内容	点数
1	4	(株)啓文舎	「縄文を訪ねる」掲載のため	大清水上	遺構写真	2
2	6	遠野市史編さん室	遠野市史へ掲載	九重沢・平清水館・ 柳沢Ⅱ・向井Ⅲ	図版・遺物写真	15
3	6	(一財)六ヶ所村文化振興公社	企画展解説パネル、配布資料等に 掲載	萩内	遺構写真	1
4	6	岩手県立博物館	「ふしぎな縄文」展において展示 するため	川目A	遺構写真	4
5	7	志波城愛護協会	4城縄ネットワーク展の展示及び 講話資料に掲載	小堀・飯岡才川・飯岡 沢田・飯岡林崎	図版・遺構写真 ・遺物写真	17
6	7	(株)同成社	「御所野ものがたり」に掲載	馬立Ⅱ	遺物写真	1
7	8	花巻市総合文化財センター	文化財講演会広報資料に掲載	宿・蛇蛭堀・大西	遺構写真	4
8	8	一関市立藤沢図書館	地域おこし事業における展示	相ノ沢	遺物写真	5
9	8	(一財)奥州市文化振興財団 奥州市埋蔵文化財調査センター	特別展「変化したエミシのムラ」 展示、図録への掲載	明神下・中林下・ 杉の堂・中平入	遺物写真	77
10	9	花巻市博物館	特別展 の展示	安堵屋敷・高畑・ 下中居Ⅰ・Ⅱ	遺構写真	3
11	9	八幡平市	セミナー発表資料に掲載、企画展 に展示	野田・寄木・崩石・ 長者屋敷	遺構写真	55
12	10	いちのへ縄文里山クラブ	セミナーのポスターに使用	長谷堂貝塚・ 川目A	調査風景写真	2
13	10	えさし郷土文化館	講演会資料に掲載	沢田・明神下	遺構写真・遺物写真	9
14	11	個人	「カラー版ムシの考古学」に掲載	大渡Ⅱ	遺構写真・遺物写真	7
15	11	花巻市総合文化財センター	企画展「縄文ムラの人々」に展示	折居	遺構写真・遺物写真	8
16	2	一関市博物館	発表スライド、遺跡報告書に掲載	不動館	遺物写真	2

No.	月	申請者	目 的	遺跡名	資料内容	点数
17	2	二戸市教育委員会	普及用城館DVDに掲載	釜沢館	遺構写真	4
18	3	TBS グロウディア	国立科学博物館「大水河期展」図録掲載	下嵐江Ⅰ・Ⅱ	遺物写真	14
19	3	(株)ジャパン通信情報センター	「文化財出土情報」に掲載	折居	現地説明会資料 ・遺構写真 ・遺物写真	8
20	3	盛岡市教育委員会	文化財シリーズ43集「古代志波城跡と蝦夷」に掲載	小幡・飯岡沢田・野古A・向中野館・飯岡才川・台太郎	遺構写真・遺物写真・実測図	22
					すべてデジタル計	260

(2) 自主事業

① 遺跡報告会

遺跡報告会は県からの受託業務の埋蔵文化財公開講座と同日の令和7年1月25日(土)に、いわて県民情報交流センター(アイーナ)を会場に開催し、188名の参加があった。今年度は復興発掘調査の成果から「縄文時代の食」「平安時代の塩づくり」をテーマとした報告と、当センターが調査した住田町中坪Ⅲ遺跡の調査成果について報告した。



遺跡報告会

表9 遺跡報告会報告遺跡
公開講座テーマ関連報告「三陸の海の幸・山の幸—復興発掘調査から見た沿岸の食文化—」

No.	テーマ	内容	報告者
1	縄文時代の食	復興発掘調査において出土した当時の食に関する遺構・遺物の報告。大船渡市内田貝塚、山田町沢田Ⅲ遺跡の魚介類、陸上動物遺体や釜石市太田林遺跡、宮古市高根遺跡、山田町沢田Ⅲ遺跡のトキノキやクリなどの植物遺体についての報告。	主幹兼課長補佐 阿部 勝則 主任文化財専門員 八木 勝枝
2	平安時代の塩づくり	赤前Ⅲ遺跡や金浜Ⅰ遺跡など、復興調査で事例の増加した製塩土器や土製支脚等の出土状況から当時の塩づくりの様相を報告。	主任文化財専門員 村田 淳

令和6年度調査遺跡からの報告

No.	遺跡名	市町村	時代と内容	報告者
3	中坪Ⅲ遺跡	住田町	縄文時代後期～晩期の集落。壁際に石を並べた大型の竪穴住居があり、その周りに掘立柱建物が多く検出された。石棒類などの石製品が豊富である。	主任文化財専門員 須原 拓

② 資格取得

- 第二種衛生管理者 1名(主任文化財専門員 八木 勝枝)
- 化学物質管理者 1名(主任文化財専門員 須原 拓)
- 有機溶剤作業主任者 2名(会計年度雇用職員 村松 紀子、会計年度雇用職員 安本 桂子)

③ 研 修

●職員専門研修

- ◆「現場の安全衛生について—熱中症予防を中心に—」

令和6年5月31日(金)

講師 建設業労働災害防止協会岩手県支部 自然災害関連工事岩手安全衛生支援センター
安全衛生専門家 主任指導員 矢野 誠一

- ◆「花巻城の調査成果から」講師 花巻市教育委員会 菊池 賢
- 「九戸城の調査成果から」講師 二戸市教育委員会 柴田 知二

令和7年2月21日(金)

●会計年度雇用職員研修

- ◆「整理の流れ」「遺構図のデジタルトレース、写真データの加工、図版作成の実技など」

令和6年9月2日(月)

講師 主幹兼課長補佐 阿部 勝則 主任文化財専門員 北田 勲

会計年度雇用職員(調査事務) 高橋 千里

受講者 室内整理B作業従事職員7名

- ◆新任者研修「実測・拓本などについて」

令和6年11月19日(火)・令和6年12月17日(火)

講師 主幹兼課長補佐 阿部 勝則

会計年度雇用職員(調整・指導) 村松 紀子・安本 圭子

会計年度雇用職員(調査事務) 高橋 千里

受講者 室内整理A作業従事職員6名

●外部研修への派遣

- ◆岩手県教育委員会、一般社団法人岩手県文化財愛護協会

「文化財に係るコンプライアンス研修会

一被災文化財への対応に関するコンプライアンス等について」

令和6年6月14日(金) 岩手県立博物館

講師 (独行)文化財防災センター 副センター長 建石 徹

受講者 主幹兼課長補佐 星 雅之 主任文化財専門員 八木 勝枝 主任主査 金子 佐知子

主任 松尾 健生

- ◆文化庁 令和6年度埋蔵文化財担当職員等講習会

開催法人(公財)山形県埋蔵文化財センター

令和6年9月18日(水)～9月20日(金) 山形市民会館

受講者 主任文化財専門員 北田 勲

- ◆全国埋蔵文化財法人連絡協議会 開催法人(公財)兵庫県まちづくり技術センター

令和6年10月10日(木)～10月11日(金) 兵庫県神戸市「ホテル北野プラザ六甲荘」

受講者 主任文化財専門員 八木 勝枝 主事 藤澤 花帆

- ◆独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

該当なし。

- ◆岩手県立産業技術短期大学校

Illustratorの基本操作 令和6年8月27日(火)・28日(水) 受講者: 会計年度雇用職員3名

Photoshopの基本操作 令和6年9月24日(火)・25日(水) 受講者: 会計年度雇用職員3名

④ 発 刊

●紀要 第44号

当センターの研究紀要として、昭和55年以来発刊している。今年度は論文3編、研究ノート2編を掲載した。

表10 紀要第44号の内容

(論文)

執筆者	タイトル
星 雅之・ 須原 拓	岩手県内における縄文時代の放射性炭素年代測定(AMS法)の集成 その2 —中期初頭から晩期末葉までの事例—
村木 敬	「窪地」を再利用した竪穴建物について —中平遺跡における平安時代の事例を基に—
阿部 勝則	岩手における近世の炭焼きと炭窯跡

(研究ノート)

村上 拓	落着島のアフォーダンス・集約のレジリエンス—縄文時代における「想知領域」との向き合い方を再考する—
村田 淳	九戸郡西部における古代集落の研究 (1. 九戸村)

●年報 令和5年度版

令和5年度に当センターが実施した発掘調査・整理・報告書刊行・遺物の活用・普及啓発・研究普及等の業務成果記録を掲載し、平成30年度以降は印刷物とせず、webで公開している。

⑤ 図書管理

●図書台帳の作成

令和6年度新着図書1,369冊のデータベース化と図書台帳作成を行った。センター設立から令和7年3月末日までの図書受け入れ冊数は74,287冊である。

●図書の整理保管

新着図書の記号ラベル貼付けと図書カード作成後に整理・収納し、図書室ほかに配架した。

●図書の貸出

令和6年度は571件の貸出があった。

表11 図書受け入れ冊数

年 度	財団寄贈	県立寄贈	購 入	合 計
平成14年度まで	24,172	5,049	4,010	33,231
平成15年度	1,936	331	247	2,514
平成16年度	1,692	190	51	1,933
平成17年度	2,110	212	71	2,393
平成18年度	1,805	168	155	2,128
平成19年度	1,834	187	69	2,090
平成20年度	2,218	100	39	2,357
平成21年度	1,813	104	56	1,973
平成22年度	1,833	53	24	1,910
平成23年度	1,483	62	79	1,624
平成24年度	1,954	166	50	2,170
平成25年度	1,734	111	43	1,888
平成26年度	1,789	75	148	2,012
平成27年度	1,567	46	30	1,643
平成28年度	1,527	45	24	1,596
平成29年度	1,722	30	35	1,787
平成30年度	1,642	16	97	1,755
令和元年度	1,468	13	57	1,538
令和2年度	1,593	42	39	1,674
令和3年度	1,860	23	38	1,921
令和4年度	1,330	20	57	1,407
令和5年度	1,292	19	63	1,374
令和6年度	1,328	14	27	1,369
合 計	61,702	7,076	5,509	74,287

⑥ カラースライドのデジタル化

過去に発掘調査で撮影したカラースライドについては、退色などの品質低下を免れないことから順次デジタル化を行って保存を図っている。令和6年度は39集分のデジタル化を行った。

⑦ 所内展示

本館玄関ホールにおいて、当センター保管の各時代の遺物資料を展示している。

⑧ ホームページ運営

主な項目と内容

- ・「発掘調査」発掘調査の方法や現在発掘中の遺跡・室内整理の状況を進捗に合わせて逐次紹介。
- ・「現地説明会・現地公開のご案内」現地説明会のお知らせと開催した説明会のレポートを掲載。
- ・「出土品ギャラリー」これまでに調査した遺跡から出土した遺物の代表的なものを紹介。
- ・「いわての歴史年表」主な遺跡を掲載した年表を掲載。
- ・「イベントレポート」公開講座や遺跡報告会など行事の様子を紹介。
- ・「ムービー」センター創設以来の業務の紹介映像。
- ・東日本大震災関連の発掘調査に関してはコーナーを設けて検索しやすくように配置している。
- ・令和6年4月から7年3月までのアクセス数は20,977件で、月平均1,748件である。

⑨ 遺跡見学・体験学習・教職員研修・現地説明会・現地公開

6年度は、小学生の遺跡見学1件、町議会の見学1件、一般の見学1件、発掘調査体験会1件を受け入れた。現地説明会と現地公開は、2回実施した。



中埴Ⅲ遺跡 現地公開



岡田遺跡 小学生の遺跡見学

表12 見学依頼等対応

No.	遺跡名	所在地	期 日	種 別	参加人数	見学者
1	中埴Ⅲ遺跡	住田町	令和6年4月16日(火)	見学対応	17	町議会議員
2	中埴Ⅲ遺跡	住田町	令和6年6月8日(土)	町教委主催	24	
3	折居遺跡	花巻市	令和6年8月23日(金)	見学対応	3	地元団体
4	岡田遺跡	北上市	令和6年9月17日(火)・18日(水)	見学対応	517	小学校児童・教員
				計4回	561	

表13 現地説明会・現地公開

No.	遺跡名	所在地	期 日	種 別	参加人数	遺跡内容
1	折居遺跡	花巻市	令和6年9月14日(土)	現地説明会	96	縄文時代集落
2	中埴Ⅲ遺跡	住田町	令和6年9月25日(水)	現地公開	71	縄文時代狩猟場・集落
				計2回	167	

4 外部協力

外部組織等からの依頼を受け、講演の講師、研究会等の報告、委員会等の会議への出席、指導などや出版物への執筆依頼を受けるなど外部協力を行っている。

(1) 講演・研究発表・会議・指導

表14 講演・研究発表・報告・会議・指導等

No.	主催者	派遣場所	月日	内 容	職	氏 名
1	(一財)奥州市文化振興財団奥州市埋蔵文化財調査センター	奥州市埋蔵文化財調査センター	6.6.16	鎮守府探訪講座2024「奥州、日本への馬産地へのあゆみ」講義	主任文化財専門員	福島 正和
2	(公財)福島市振興公社	宮城道跡史跡公園	6.7.7	じょーもびあ宮城文化フォーラム事前うちあわせ	主任文化財専門員	八木 勝枝
3	岩手考古学会	県立博物館	6.7.20	第55回研究会「弥生時代から古代の穀物栽培」「穂積貝からみた古代の穀物栽培」の発表	主任文化財専門員	福島 正和
4	釜石市文化スポーツ部	釜石市役所	6.7.29	第1回縄野高砂跡史跡整備検討委員会出席	主任主査	金子 佐知子
5	花巻市教育委員会	花巻市総合文化財センター	6.10.5	埋蔵文化財後援会「発掘調査された花巻市石鳥谷町の道跡」講演	文化財専門員	村田 淳
6	(公財)福島市振興公社	ふくしん夢の音楽堂	6.11.9	じょーもびあ宮城文化フォーラム講演	主任文化財専門員	八木 勝枝
7	大槌町教育委員会	大槌町文化交流センターおしやっち	6.11.16	『掬る女』上映に伴うトークイベント出席	主任文化財専門員	八木 勝枝
8	花巻市教育委員会	岩手県立埋蔵文化財センター	6.11.28	花巻城出土陶磁器の鑑定	文化財専門員	村田 淳
9	日本中世土器研究会	滋賀県立大学	6.11.30 ～12.1	第42回日本中世土器研究会『都市の流通—中世前期の土器・陶磁器から—』(平泉と周辺地域)報告	文化財専門員	村田 淳
10	岩手県教育委員会	韓国ソウル市	6.12.9 ～12.12	韓国における王宮と陵墓の関係についての調査	主任文化財専門員	西澤 正晴
11	太田ふるさと会	太田振興センター	7.1.29	講話「折居道跡の発掘に思う」	主任文化財専門員	福島 正和
12	花巻市教育委員会	花巻市文化会館	7.2.2	花巻市埋蔵文化財講演会「山ノ神II道跡の発掘調査」講演	上席文化財専門員	杉沢 昭太郎
13	花巻市教育委員会	花巻市文化会館	7.2.2	花巻市埋蔵文化財後援会「折居道跡の発掘調査」講演	主任文化財専門員	福島 正和
14	宮古市教育委員会	宮古市埋蔵文化財センター	7.2.12	近内中村道跡出土土偶の調査指導	主任文化財専門員	八木 勝枝
15	花巻市博物館市史編さん室	花巻市博物館	7.2.21	市史編さん第1回先史部会出席	主任文化財専門員	八木 勝枝
16	釜石市文化スポーツ部	釜石市役所	7.2.27	第2回縄野高砂跡史跡整備検討委員会出席	主任主査	金子 佐知子
17	岩手県教育委員会	トーサイクラシックホール岩手	7.3.10	高地性集落跡地帯調査に関する検討会出席	文化財専門員	村田 淳
18	北上市教育委員会	日本現代詩歌文学館	7.3.15	岡田道跡発掘調査報告	主任文化財専門員	村上 拓
19	花巻市博物館市史編さん室	花巻市博物館	7.3.21	花巻市史編さん室第1回古代部会出席	文化財専門員	村田 淳
20	(一財)奥州市文化振興財団埋蔵文化財調査センター	奥州市埋蔵文化財調査センター	7.3.22	奥州市道跡発掘調査報告会「中林下道跡」の調査報告	上席文化財専門員	杉沢 昭太郎

(2) 執筆等

表15 執筆等

No.	依頼元	出版物	発行日	内 容	職	氏 名
1	同志社大学文学部	日本列島における縄文石製遺物身具の編年・系統的研究	9.3.31	研究協力	主任文化財専門員	八木 勝枝

公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿(令和6年度)

理 事 兼 所 長 岩 淵 計

[総 務 課]

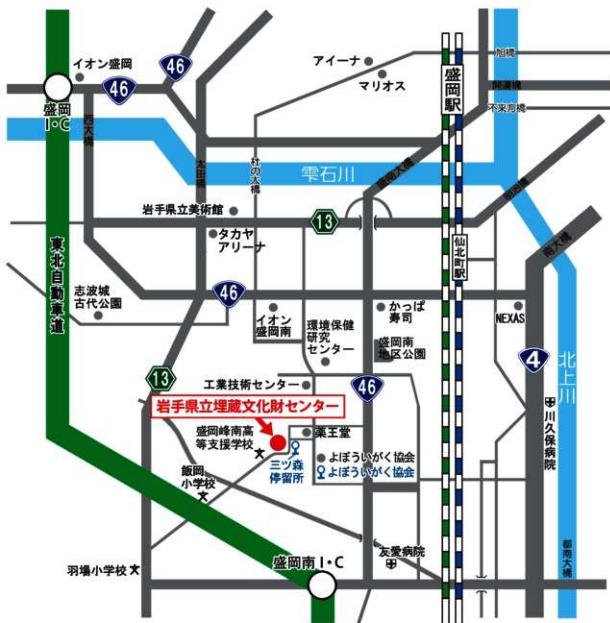
総 務 課 長 山 崎 隆
主 任 主 査 佐々木 訓
主 任 松尾 健生
主 事 藤澤 花帆

総 務 事 務 員 大志田 苗穂子
" 武田 秀徳
" 福井 真生野
" 小野寺 美沙
" 藤原 明美

[調 査 課]

参事兼調査課長 濱田 宏
主幹兼課長補佐 星 雅之
" 阿部 勝則
上席文化財専門員 杉沢 昭太郎
主任文化財専門員 溜 浩二郎
" 村上 拓
" 西澤 正晴
" 村木 敬
" 福島 正和
" 北村 忠昭
" 八木 勝枝
" 須原 拓
" 北田 勲
主 任 主 査 小山内 透
" 金子 佐知子

文 化 財 専 門 員 川又 晋
" 村田 淳
調 査 補 助 員 富川 梧(6月退職)
" 袖林 清
" 長沼 宏行
" 銀形 信
室内整理調整・指導 村松 紀子
" 安本 桂子



アクセス

- 東北新幹線盛岡駅、JR東北本線仙北町駅下車
- 盛岡駅発岩手県交通バス 飯岡線湯沢団地経由矢巾営業所行き ミツ森停留所下車
ゆいとびあ東線よぼういがく協会行き よぼういがく協会下車徒歩5分
- 仙北町駅西口より徒歩約30分
- 東北自動車道盛岡南インターチェンジより車で10分

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地

TEL (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

E-mailアドレス i-maibun@echna.ne.jp

ホームページ <http://www.iwate-maibun.jp/>

年 報

令和6年度版

発 行 令和7年7月1日

発 行 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地

TEL (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563
